

寮のある学校での体験入学

一時帰国の機会の「体験入学」は、海外の子ども達にとって、直接、日本・日本の学校を経験する貴重なチャンスです。

しかし、「高校生を受け入れてくれる学校がなくて、あきらめた」という話を、保護者からよく聞きます。

そこで、体験入学を希望する中学生・高校生・保護者のために、「日本語・国語の特訓と日本の生活体験を提供する、寮のある学校」を調べましたので、簡単に紹介しましょう。

広島三育学院中学・高校 体験入学プログラム

海外からの体験入学を受け入れてくれる全寮制の学校のプログラムです。一時帰国した中学・高校生が、日本の生徒と寝起きを共にしながら、日本の学校生活を経験できます。

夏休みの期間だけではなく一年を通じて参加可能で、帰国生のために、通常の授業の他に国語・英語の特別クラスを開講したり、日本の文化・社会を見聞する活動も用意されています。詳しくは学校に直接お問い合わせください。

〒729-1493 広島県三原市大和町下徳良296-2 電話(0847)33-0311
<http://sites.google.com/a/san-iku.net/ja/Home>

明德義塾中学・高校 Japan Summer School 2010

外国の学校で学ぶ生徒のための体験入学プログラムです。

7月の12日間を、世界中から集まった参加者全員が学校内の寮に宿泊し、午前中は授業、午後は日本の文化・自然を体験します。夏休みの間の活動で寮生活中の多くの国内生・留学生との交流活動も、多く組み込まれています。

基礎日本語から古文までの幅広いレベルの日本語・国語や理数科目などを、習熟度クラスで午前中受講します。

堂ノ浦キャンパス(本校) 〒785-0195 高知県須崎市浦ノ内下中山160
電話(0847)33-0311 E-mail:info@meitoku-gijuku.ed.jp
<http://www.meitoku-gijuku.ed.jp/>

☆

「中高生の寮での体験入学」のメリットを考えてみましょう。

1. 子どもだけで参加できる：家族揃っての帰国は大変です。子どもだけで参加できるのなら、毎年(?)だって可能です。家族で帰国の場合は、子どもは寮で体験入学で勉強、その間にお母さんは親戚回りや温泉でゆっくり!?
2. 日本語・国語の授業：紹介した学校は海外の中高生のための特別クラスを開講しています。それらのクラスを受講させて、子どもの日本語力のチェックや補習をしっかりとっておくことは、将来の進路を決めるのに大いに役立つのでは。

もうひとつ、どちらの学校も、自然に恵まれた(脱走不可能な!)環境にあります。費用も安いようで、お勧めです!

日本へ留学?

海外の滞在が長くなる、日本帰国の予定がない、こんな家庭の子ども達が、北米全体で徐々に増えてきています。現地生活が中心になった、その子ども達が日本語や日本文化に興味を持たなくなるのは当然です。

一方、「日本人に育てたい」「バイリンガル・バイカルチャーに育てれば、将来必ず本人のプラスになる」と保護者は考え、その方法を探ります。そのひとつが左で紹介した、日本への一時帰国やサマースクールへの参加です。しかし、もっと長期にわたって、日本語に接触し、日本で生活を体験させる方法は、と考える保護者は多くいます。

そんな希望に応えるプログラムを、明德義塾が始めます。

明德義塾中学・高校 1年間高校留学プログラム

北米の現地校で学んでいる高校生が、1年間明德義塾で日本語・日本文化を中心に学び、再び現地校に戻るプログラムです。9月から翌年7月までの留学期間中の学習を現地校の単位として認定してもらうことも可能です。

明德義塾は約30年前から留学生を受入れており、現在是在校生の約3割が留学生です。その留学生のために基礎日本語から国内生の大学進学のための受験国語のレベルまでの数多くの日本語・国語クラスがあり、指導が充実しています。

また、在校生の約9割800人が、大自然の中に広がる校地にある生徒寮で寝起きし、同じ敷地内の住宅に住む教職員と共に学校生活を過ごすという、日本では大変ユニークで恵まれた環境の学校で学んでいます。

これらの特徴を生かし、北米の日本人高校生・現地の高校生に日本語・日本文化を学ぶ機会を提供するために、明德義塾がこの新しいプログラムを今年9月から始めます。

☆

北米の日本人高校生にとってのこのプログラムの意義は:

1. 日本人に育てる：日本語力の向上に加え、日本で1年間生活することで、日本の生活習慣や文化を身につける。レベルの高いバイリンガル・バイカルチャーを目指す。
2. 英語での学習継続：英語が第一言語の留学生向け授業もあり、English・Mathなどの学習が続けられる。留学後の現地校への復帰や米大学出願準備がスムーズにできる。
3. 現地校での単位認定：留学期間中の学習を、単位として認定してもらえれば、現地校の卒業は遅れないし、米大学への進学でも「留学体験」が有利な材料になる。

このプログラムの今後の展開・発展に注目しましょう!